

平成20年12月16日

稲荷森保育園

運営委員代表 福嶋浩之

園長 藤本幸子

関係者各位

今後の稲荷森保育園の運営について

稲荷森保育園の閉園の決定に関しましては保護者を始め多方面にご心配をおかけしております。

去る12月3日（水）に稲荷森をつなぐ会より、運営委員と園長に存続へ向けての提案書の提示および説明がありました。その後12月5日（金）には、林・不動田・福田の3名の先生につなぐ会より直接、提案書の内容説明がありました。

また、12月14日（日）には正式にOB会（正式名：いなほ会）が発足し、いなほ会会長より園と父母の会に対して存続へ向けての協力の申し出をいただきました。

稲荷森をつなぐ会より示された提案書といなほ会からの申し出を受けて、運営委員・園長・職員で真剣に話し合った結果、下記の結論になりましたのでここにお知らせいたします。

今回の提案書及び、いなほ会からの話をいただいたことを受け、

稲荷森保育園を今後長期にわたって存続するにはどのような運営の仕方が良いのかを園側（運営委員、園長、職員）、保護者（現段階ではつなぐ会）、いなほ会の3者にて話し合いを持つこととします。

話し合いの持ち方は「存続する場合の新運営方法を考える」ためのもので、準備委員会的なものを想定しております。園、つなぐ会、いなほ会の代表者数人で相談しながら進めていきたいと思っております。

また、話し合いの途中でも存続が可能と判断された場合は平成22年度（平成22年4月）より新運営委員会へ稲荷森の未来を託すことも考えております。